



「おだいじにを形にする」 シンリオウの グループ会社をご紹介します

シンリオウがお客様に自信をもって製品をお届けできる背景には、医療現場に相応しい高品質・低価格・短納期を実現しながら、常に変化するお客様のニーズに応えられる製品の開発に挑戦し続けるグループ会社の存在があります。今回は、「より安心してシンリオウの製品を使っていたきたい」という想いから、シンリオウの製品を開発・製造するグループ会社2社をご紹介します。



1987年設立の診療化成株式会社は、福島県の最南端にある自然豊かな矢祭町の山間から、日本全国に向けて医療用プラスチック容器を製造・お届けしています。800を超える製品は、薬剤師様の投薬時にも、患者様の服薬時にも使いやすいよう工夫が施されています。

今夏にはコロナ禍の医療現場における業務効率化・経費削減を支援する新容器として陰洗ボトルシャワータイプをリリース。病棟で患者様の洗体を行う看護師様や介護施設の現場においても様々なユーザー様から「使いやすい」「リーズナブル。専用ボトルなので安心して使える」と好評です。医療機器認証を取得した「けんだくボトル」をはじめとした定番容器を安定供給しながら、お客様のニーズに合う新型容器の開発にも注力しています。

診療化成株式会社 - products 投薬瓶・軟膏容器・けんだくボトル etc -



写真④：ボトル類を製造する「プロロイ成形機」を高温度で液体状にした原料を金型に流し込み、流し込み後、冷却して成形用ボトルの安定供給を支えています。

写真⑤：ポイントで個別包装する工程。滅菌加工は環境にやさしく、殺菌剤の添加も必要ありません。滅菌効果を保つために個別包装にしました。

写真⑥：マイクロコンピュータ（電子顕微鏡）でボトルの口部分を検査。重層および液漏れの検査機の使用や、容量測定等の実施により品質管理を徹底。患者様、医療従事者様が安心してご使用いただける製品を製造・お届けしています。

埼玉県秩父郡に薬袋専門工場として1971年に操業を開始した診療印刷株式会社は、医療機関様と患者様を繋ぐ印刷製品全般を製造する印刷会社です。徹底した品質管理体制と最新の設備・技術で、医療現場で安心して使える製品づくりを行っています。

お馴染みの診察券・薬袋・お薬手帳はもとより、今では吸着シートなど紙媒体以外の製品もデザインの作成から対応可能となりました。

特に吸着シートは、感染対策必需品であるパーテーションに貼る「患者様コミュニケーション支援ツール」として好評です。

今夏には、抗ウイルス薬袋やワクチン接種手帳といった新製品もリリース。「今、求められているものは何か？」を常に模索しながら、開発に取り組んでいます。

診療印刷株式会社 - products 診察券・薬袋・お薬手帳 etc -



写真①：最新鋭のLED・UVオフセット印刷機「菊全判」。卓越した印刷能力と高い生産性でお客様の要望にお応えします。

写真②：日本一の薬袋生産量を誇る製袋工場の内部。薬袋のバイオニアとして70年以上の実績ノウハウで高品質を実現。

写真③：総面積10㎡（約理の流通センター）倉庫。独自の商品お預かりサービスでお客様の在庫管理やスペース問題を解決し、短納期で商品をお届けします。



シンリオウが医療現場の皆様からいただく声を、2つのグループ会社で製品として形にし、皆様のお手元に届けます。製品化後も日々いただくご意見や感想を基に、より一層の高品質・低価格・短納期を目指し改良し続けています。シンリオウグループは、コロナ禍において様々な課題に直面する医療現場をこれからも製品・サービスで支えたいと考えています。シンリオウ・診療印刷・診療化成 3社の連携を強固にしながら、時代と共に変わっていくお客様のご要望に耳を傾け、お応えしていくことで「おだいじにを形にする」を実現して参ります。